

登録コード	F3B71230	開講年度	2026			
授業科目	バイオエンジニアリング演習Ⅲ				担当教員	小関 道彦 他
英文授業名	Seminar in Bioengineering III				副担当	渡辺 健太郎・照月 大悟
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・3時限 水曜・4時限	対象学生
講義室	繊維3 4 番講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2 2 Fカリ					
	【2022年度以前カリキュラム対象】 ヒトと環境にやさしい機械を創造するための専門的知識と課題解決能力				⇔	設計工学と機械力学の演習問題を解くことができるようになる。
	【2022年度以前カリキュラム対象】 コミュニケーションおよび情報収集・発信能力				⇔	分からない問題や解けなかった問題を図書館やインターネットで調べ情報を収集することができるようになる。
	【2022年度以前カリキュラム対象】 課題解決に向けて自主的・継続的に学習・計画・実行できるデザイン力と実行力				⇔	収集した情報を整理し、問題を解くことおよび課題を解決することができるようになる。
	2 4 Fカリ・機械味'ット・ハイコース、 2 3 Fカリ・機械味'ット・ハイコース					
	【2023年度以降カリキュラム対象】 課題解決に向けて自主的・継続的に学習・計画・実行できる能力を有する				⇔	設計工学、機械力学、制御工学、人体生物学の演習問題を解くことができるようになる。 分からない問題や解けなかった問題を図書館やインターネットで調べ情報を収集することができるようになる。 収集した情報を整理し、問題を解くことおよび課題を解決することができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	教員とのコミュニケーション（チューター面談）を行い、計算力学と専門科目（設計工学、機械力学、制御工学、人体生物学）の演習を行う。					
(5)授業計画	各回の授業時間は1 0 0分である。 順番や内容が変更される可能性がある。その際は連絡する。 eALPSを授業前に必ず確認すること。 設計工学演習と機械力学演習は3限1コマのみの実施とする。 第01回 H R（自己点検、チューター面談） 第02回 設計工学演習 第03回 設計工学演習 第04回 設計工学演習 第05回 機械力学演習 第06回 機械力学演習 第07回 機械力学演習 第08回 制御工学演習 第09回 制御工学演習 第10回 制御工学演習 第11回 人体生物学演習 第12回 人体生物学演習 第13回 人体生物学演習 第14回 ふりかえり、授業アンケート（1 5分） 第15回 予備日					
(6)成績評価の方法	課題もしくはレポートで評価する。 ただし、eALPSに掲載されるガイダンス資料、および、以下の注意事項を必ず確認した上で授業に臨むこと。 - 本演習は複数の教員がオムニバスで担当する。 - 授業を理由もなく欠席し、課題とレポートを提出した場合、0点もしくは大幅な減点を行う。 - やむを得ず欠席しなければならない際は、事前・事後（早急に）担当教員へ連絡・欠席についての説明を行い、了解をとること。 - 欠席した際の授業のフォローアップは、担当教員と相談の上、指示を受け、課題提出に支障をきたさないこと。 - また、欠席した回の課題については、担当教員と提出日の確認を行い、速やかに提出すること。 - なお、出席・欠席に関わらず、提出期限を超えた際のレポートは、0点もしくは大幅な減点を行う。					
(7)成績評価の基準	秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可（D）： 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）： 授業の達成目標の水準にない					
(8)事前事後学習の内容	この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。各回の演習、講義の内容を図書館等を利用して事前に学習し、授業後には授業で出された課題について調査・検討し、レポートの作成を行うこと。					
(9)履修上の注意	eALPSを授業前に必ず確認すること。					

(10)質問,相談への対応	質問や相談は随時受け付ける。
(11)学生へのメッセージ	
(12)その他	
【教科書】	必要に応じて教科書を紹介する。
【参考書】	必要に応じて参考書を紹介する。